

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念については会議の中で唱和をし、意味の理解を深めようとはしているものの、ケアに立ち返る部分においては、不十分なところもあるため、理念が持つ意味を深める必要がある。	職員一人一人が、理念を理解し、意識をしたケアになるように努める。	理念についての研修を開催する。なぜ、事業所において理念が必要なのかなど、理解を増やす機会をつくる。毎朝の朝礼時の唱和の継続とカンファレンスをした時には、毎回その話し合いの内容は理念に沿っていたか、確認するようにする。	6ヶ月
2	4	運営推進会議を招集せずに紙面での報告が多かった今年度においては、リアルなご利用者の姿を報告する視点が足りなかった。運営推進会議と協働で地域の高齢者を支えていく視点が薄れていた。	地域住民の方々、多職種の方々、ご利用者家族といった運営推進会議のメンバーとの対話を重視し、ともに地域の課題を解決していく関係をつくる。	会議の内容、報告の内容を管理者だけでなく他の職員とも話し合い、事業所全体で地域とのつながりをもつ意識づけをする。また、日頃の様子などにおいて、気づきの部分を職員から収集し、報告の機会にする。	3ヶ月
3	35	地域の協力体制を踏まえて災害対策マニュアルを作成しているが、具体性がなく地域を巻き込んだ災害訓練ができていない。	地域住民を含めた具体的な避難計画を立案し、運営推進会議で提案する。	事業所職員と一緒に、災害時における地域の協力体制の重要性を学び、その上で担当者を決め、担当者を中心に計画を立てる。	6ヶ月
4	40	食事に関する検討会をする機会がほとんどないため、今のところご利用者や職員の意見が反映されていない状況。	定期的に食事についての検討会を催し、業者の方とも意見交換する仕組みをつくる。	各ユニットに食事担当を設ける。検食表や日頃のご利用者、職員の感想を聞き取って話し合い、管理者の意見を聞きながら要望や改善点をまとめる。必要なら業者の方と意見交換をする。	3ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。